



英検 Can-do リストによる Writing 技能に関する妥当性の検証

— 準2級と3級のリストを用いて — **共同研究**

代表者：北海道／函館工業高等専門学校 教授 竹村 雅史



概要

本研究は、2006年に英検が発表した「英検 Can-do リスト」に基づき、英検取得者がそのリストに挙げられた項目に即したタスクに答えてもらうことで、「英検 Can-do リスト」の妥当性を検証するものである。

調査対象は、3級、準2級の取得者で、「書く」技能のリストに挙げられた項目に対するライティング・タスクに答えてもらった。調査方法として、本調査に入る前にパイロット調査を実施し、リストに挙げられたタスクを精選し、本調査のタスクを作成した。また、自信の度合いも見るために、「英検 Can-do リスト」に基づくアンケート調査も行った。

採点方法は、2人の日本人が採点者になり、同時に1つの答案を検討し、採点者間の信頼性を保った。また、英語母国語話者にも比較参考資料のため採点に加わってもらった。

結果は、その級で挙げられているリスト項目に関して、自信がある場合には、実際にある程度のライティングの performance を発揮できることがわかったが、項目によっては発揮できないものもあった。

1 はじめに

英語が世界共通語として受け入れられるに従い、近年国内外で英語運用能力を測定するさまざまな試験が実施されている。とりわけ EU では、共通言語としての英語が見直され、各国の英語教育政策の推進が求められている。その運用能力の到達レベルのガイドラインとして、Common European Framework of Reference for Languages (CEFR) が Council of

Europe から発表され、到達度レベルで何ができるかを示した客観的な基準作りが Can-do プロジェクトとして研究されてきた。

日本では、英検が2003年5月から約3年の歳月をかけ、延べ20,000人を超える1級から5級の合格者に対し、大規模なアンケート調査を実施し、その結果を Can-do リストとしてまとめた。このリストは、具体的に英語運用能力を測って数値化したものではないが、「英語使用に対する自信の度合い」を級別に4技能別にまとめたものである。

これによって英検合格者が具体的な場面を想定して、英語をどこまで使えるかを予想することが可能になったと言える。また、級が上がるにつれて、具体的な学習目標が明確になり、学習の連続性によって英語の4技能で何ができるかが、より細かくわかるようになった。

「英検 Can-do リスト」は、あくまでも合格者の自信の度合いを調べたものであり、直接その能力を確認したものではない。したがって、これまで英検合格者に実際にリスト項目に基づいたタスクに答えてもらったデータはない。英検の級取得者がどの程度リスト項目に基づいたタスクに答えることができるかを示す検証がどうしても必要となる。

2 調査目的

本研究は、英検級取得者に「英検 Can-do リスト」に挙げられたリスト項目に基づいたタスクを実際に答えてもらい、そのリストの妥当性を検証することが目的である。

今回は、4技能のうち、「書く」(writing)技能に焦点を絞り、3級「自分のことについて簡単な文章を書くことができる」、準2級「興味・関心のあることについて簡単な文章を書くことができる」の大きな各レベル設定にどこまで級取得者が答えることができるかを3人の採点者(日本人2人、参考としてカナダ人1人)で採点することにした。

「書く」技能に絞った理由は、この技能に関しては他の3技能に比べあまり調査されていないこと、英検3級、準2級の筆記試験では、ライティング・タスク(実際に書く問題)がなく、この技能に関しては特に取得者が実際に解答した場合、どれくらい書けるのかがわかっていないことが挙げられる。

3 調査対象

調査対象は高専(工業高等専門学校)に在籍する1年生から5年生までの3級取得者65名、準2級取得者60名(合計125名)である。この調査に協力を得られた割合はこの高専での英検取得者の全体の約60%である。対象者には、事前に調査の目的を説明し、本調査に臨んでもらった。調査対象者の取得年と得点の詳細は、「5.2 調査対象者の精査」で述べる。

4 調査方法

4.1 パイロット調査

本調査の前に、1)英検Can-doリストをもとにしたタスク作成、2)本調査の時間配分の確定、3)評価方法と評価基準の確定、4)採点者間の信頼性の確保のため、パイロット調査を実施した。

実施時期：2007年10月29日(15:10~16:00)

実施材料：英語力Can-doアンケート(資料1)、
ライティング・タスクA(資料2)、
ライティング・タスクB(資料3)

実施対象：1年情報工学科39名

4.1.1 タスク作成(パイロット調査)

タスク作成にあたっては、「英検Can-doリスト」の3級、準2級の「書く」(writing)技能の中に具体的に挙げられている「Can-do表現(statement)」

(表1, 2)を用いて、検討した。

■表1：英検Can-doリスト(3級)

英検合格者の実際の英語使用に対する自信の度合い

書 く	自分のことについて簡単な文章を書くことができる。
	① 簡単な自己紹介の文章を書くことができる。 (名前, 住んでいるところ, 家族など)
	② 自分の趣味について, 書くことができる。
	③ 物ごとの「好き」, 「嫌い」とその理由を書くことができる。(食べ物, スポーツ, 音楽など)
	④ 短い日記を書くことができる。(1文から3文程度)
	⑤ 簡単なカードやはがきを書くことができる。 (誕生日カード, 旅行先からの絵はがきなど)
⑥ 短い伝言を書くことができる。 (例: Ken called at 3 p.m.)	

(注)○番号は筆者

■表2：英検Can-doリスト(準2級)

英検合格者の実際の英語使用に対する自信の度合い

書 く	興味・関心のあることについて簡単な文章を書くことができる。
	① 自分の将来の夢や希望について, 書くことができる。(訪れたい国, やりたい仕事など)
	② 自分のお気に入りのもの, 身近なものを紹介する簡単な文章を書くことができる。 (自分のペット, 好きな本など)
	③ 短い手紙(Eメール)を書くことができる。 (友達やペンフレンドへの簡単な手紙など)
	④ 簡単なお知らせを書くことができる。 (パーティーの日時や場所, 文化祭の日程など)
⑤ 簡単な予定を手帳やカレンダーなどに書き込むことができる。(例: Meet Yoko at the station at ten / Go shopping with Jill)	

(注)○番号は筆者

これらの「Can-do表現(statement)」から想起されるタスクとして、各級に対して2つのライティング・タスクを作成した。調査対象者のライティングのperformanceを十分に得るためには、書く動機を明確なものにしなければならないと考え、タスク作成の際には、1)場面の設定、2)誰に対して

書くかがわかる, 3) プロンプト (prompt), すなわち指示の出し方をわかりやすく書きやすいようにする, の3点に注意した(資料2, 3)。

パイロット調査で, プロンプトが長いと, 限られた時間内で十分なライティングの performance を発揮できない可能性があることがわかり, 本調査では, 1) タスクの内容を明確にする, 2) 指示の表現をよりわかりやすく短めにする, の2点に注意し

■表3: 本調査のタスク

3 級	
タスク 1	※ Can-do リストの①に対応
4 月, 新しい英語担当の先生が「みなさんのことをよく知りたいので, 今から英語で自己紹介を書いてください。」と言いました。下に自分の自己紹介文を英語で書きなさい。ただし, 次の 3 つの項目も含めること。 ※名前, 住んでいるところ, 家族	
タスク 2	※ Can-do リストの③に対応
どんなことでもいいので 1 つのことをとりあげ, それについて「好き」か「嫌い」か, そして, その理由を英語で書きなさい。 (例: 食べ物, スポーツ, 音楽)	
タスク 3	※ Can-do リストの④に対応
英語の授業で, 「日記を書く」という宿題が出ました。過去 1 週間以内の出来事のうち, <u>1 つをとりあげて</u> , それについて英語で書きなさい。 ※ <u>2 文以上</u> 。	
準 2 級	
タスク 1	※ Can-do リストの①に対応
将来, 訪れたい国について書きなさい。次の内容も含めること。 ※その国になぜ訪れたいか, そしてその国でしたいこと。	
タスク 2	※ Can-do リストの②に対応
あなたは英語の授業で, 自分のお気に入りのもの, あるいは身近なものについて 1 つ英語で紹介文を書くよう指示されました。下に <u>3 文以上</u> の英語で書きなさい。 ※例: 自分のペット, 好きな本など。	
タスク 3	※ Can-do リストの④に対応
学校祭について, 中学時代の英語の先生 (ALT) に英語で案内文を送ると仮定します。次の内容をすべて含めて書きなさい。(学校祭はこれから開催されると考えてください) ※日程: 10月20日(土)~10月21日(日) ※場所: H 高専 ※お薦め: 自分でお薦めと思うイベントや模擬店など (最低 1 つは書きなさい)	

て作成した(表3)。

また, パイロット・タスクの知見から, 評価の方法が調査対象者と採点者に明快であるように「タスク完成度」の条件をプロンプトに設定した。例えば 3 級のタスク 1 は「4 月, 新しい英語担当の先生が『みなさんのことをよく知りたいので, 今から英語で自己紹介を書いてください。』と言いました。下に自分の自己紹介文を英語で書きなさい。」とあるが, 「名前, 住んでいるところ, 家族」の 3 つの要素が書かれてあって初めて, 最低限タスクを完成させることができたと思えずことにした。書いた量が多くても 1 つの要素でも欠けるとタスクの完成度としては不十分と考えた。

以上のことから採点の際の基準を設けるために, 各タスクの指示文に具体的な条件(下線部分)を設定したが, このことは調査対象者に書きやすさを与えるのと, 採点者間の判断の揺らぎを抑制させるためである。

4.1.2 本調査の時間配分

パイロット調査のライティング・タスク A (3 級) の解答時間は問 1, 問 2 を各 5 分, ライティング・タスク B (準 2 級) も同様, 問 1, 問 2 を各 5 分で実施した。アンケートの回答内容から, 本調査では, 3 級は, そのまま各問 5 分, 準 2 級は performance を十分に引き出すため各問 7 分に設定することにした。

4.1.3 評価方法と評価基準の確定

ライティングの運用能力 (performance) を評価する際には, 一般的には全体的評価 (holistic scoring) と分析的評価 (analytic scoring), 特定要因の評価 (primary trait scoring) が考えられる。本研究では分析的評価を用いた。パイロット調査では 3 級, 準 2 級両方に対応できる評価基準として「タスク完成度」, 「正確さ, 複雑さ」の観点で作成した。それを用いて, 2 人の採点者 (日本人英語教師) が採点してみたが, 採点ポイントが詳細すぎたため, 判断に困難をきたした。本研究は「Can-do 表現 (statement)」の妥当性を検証することが目的であるので, 本調査ではその目的にはずれない程度に採点ポイントの簡素化を図り, 評価基準の修正を行った。そして, 評価基準の項目を「タスク完成度 (task completion)」と「正確さ (accuracy)」の 2 つの観

点に絞った。

それぞれ項目は5ポイントの採点スケールで、あわせて10点満点とした。表4、5が採点用評価指標 (scoring rubric) である。

■表4：採点基準 (タスク完成度)

採点スケール	採点ポイント
5	タスクで求められている条件を満たした上で、さらに詳しい情報や条件以外の情報が付加されて発展した内容となっており、まとまりのあるものになっている。
4	タスクで求められている条件を満たした上で、それらについて十分な情報量であり、付加的情報が書かれていることもある。
3	タスクで求められている条件を満たしているが、最小限の情報量である。
2	タスクで求められている条件の中で一部不足している点がある。
1	タスクで求められている条件がほとんど備わっていない。

■表5：採点基準 (正確さ)

採点スケール	採点ポイント
5	誤りがない、またはほとんどない(ただし、タスク完成度4以上が条件)。
4	小さな誤りが若干ある。
3	誤りがあるが、言いたいことを伝えるのに支障をきたすほどではない。
2	誤りがあり、言いたいことを伝えるのに支障をきたす点が多い。
1	誤りが目立ち、言いたいことが伝わらない。

(注)「綴り」、「句読法」に関する誤りは減点の対象としない。

「タスク完成度」と「正確さ」の両方が3以上、つまり合計で6以上であれば、そのタスクはできる(合格)と見なした。しかし、どちらか一方でも2がつけば、たとえ合計が6以上(タスク完成度2、正確さ4など)でも不合格とし、そのタスクの出来は不十分(不合格)と見なすことにした。これは、「タスク完成度」、「正確さ」のどちらかの極端な偏りは、ライティングの能力を正確に反映したものであると判断したためである。

4.1.4 採点者間の信頼性の確保

自由記述のライティング・タスクを採点する場合、問題になるのが、採点者による客観的採点が可能かどうかということである。表6は、本調査を行う前に、日本人採点者2名でタスクAの採点基準を確認した後、採点結果の相関を測った。

■表6：採点者間の信頼性

問1 (TC)	問1 (Acc)	問2 (TC)	問2 (Acc)
.63	.56	.80	.58

(注) TC: Task Completion Acc: Accuracy

表6により、問2のTCの採点は、強い相関が出たが、その他は、中程度の相関になった。この結果を踏まえ、採点者間の信頼性 (inter-rater reliability) を保つため、2人同時に、1つの答案を採点し、採点者間のぶれをなくす方法をとった。

5 本調査

実施時期：2007年12月12日～12月17日 (調査協力者の都合のつく4日間を設定し、時間帯は放課後約40分を利用して実施)

実施材料：英語力 Can-do アンケート (資料4)、3級ライティング・タスク (資料5)、準2級ライティング・タスク (資料6)

実施対象：英検3級取得者 (65名)、準2級取得者 (60名)

5.1 評価

評価は日本人英語教師2名とカナダ人英語教師1名が行った。日本人英語教師2名は、採点者間信頼性 (inter-rater reliability) を確保するため、答案を1枚ずつ2人同時に見ながら評価した。意見が食い違った場合、その都度議論をしながら、採点のぶれを防いだ。また、1つのタスク (問題) に対して「タスク完成度」と「正確さ」の2つの項目両方を一度に連続して評価せず、前者をすべて評価した後に後者をすべて評価した。カナダ人の英語教師には評価基準とタスク完成度の最低限の条件を示し、誤りの考え方などサンプルを示しながら説明し調査対象者すべての performance (ライティング答案) を評価してもらい、参考資料とした。

採点スケールの3は比較的判断しやすいが、4と5はその差がなかなか区別しにくいものもあった。基本的には書いた量や話題の発展性、まとまりのあるものになっているかどうかで差をつけ、迷った場合は保留にして後で4と5の差をいくつかのサンプルを比較しながら決めた。

次の回答は、パイロット調査の3級のタスク1のサンプルと評価である。

[Sample 1] My name is --- ---. I'm from Sapporo. I have mother, father, older sister, older brother. I live in Hakodate now but my family lives in Sapporo.

Task Completion: 3	Accuracy: 4
--------------------	-------------

[Sample 2] My name is --- ---. My favorite subject is English. I live in Hokuto city. My family is father, mother, brother and sister. I like listening to music. I have two dogs. they are very cute. I will study very hard and have a good time.

Task Completion: 4	Accuracy: 4
--------------------	-------------

[Sample 3] My name is --- ---. I live in Ueno.

Task Completion: 2	Accuracy: 4
--------------------	-------------

5.2 調査対象者の精査

今回の調査対象者は、それぞれ各級の取得年度とその時期（年3回）が異なっている。本調査から過去にさかのぼって2007年度第2回（7月）から2003年度第3回（2月）にわたって取得年と実施回を調べた。表7と表8は、各級の調査協力者の受験年度（実施回）ごとの人数とタスク1から3までの平均点を表している。

本来ならば、級取得の直後（performance が保たれている状態）にタスク（問題）に解答してもらうのが理想であるが、現実には、本研究の調査では不可能である。そこで、取得年から離れていない調査対象者、いわゆる、合格直近の調査対象者を調べ、解答してもらうことにした。

表7、8から取得年度、回によって、人数にばらつきがあり、しかも、直近の合格者が準2級では、少なく確保が難しいことがわかった。そこで、調査対象者の母集団を確保するにあたり、本調査実施日からなるべく近い集団から、1区分（10人以上）にまとめ、タスクごとの平均点の有意差を確認することにした。3級は、2006年度（3回）から2005年度（2回）までをAからDまでの4区分、準2級は2007年度（2回）から2004年度（2回）までをAか

■表7：3級取得者の受験年度（実施回）別人数とタスク別平均点

実施年	2006	2006	2006	2005	2005	2005	2004	2003	平均
回	3回	2回	1回	3回	2回	1回	3回	3回	
人数(人)	10	21	19	5	10	2	3	1	71 (合計)
タスク1	7.60	7.43	7.68	7.40	7.50	6.50	7.67	8.00	7.52
タスク2	6.70	6.90	7.05	6.60	7.00	7.00	7.00	6.00	6.90
タスク3	6.70	6.90	6.63	7.20	7.00	6.00	6.33	8.00	6.80
区分	A	B	C	D					

(注) タスクは各10点満点

■表8：準2級取得者の受験年度（実施回）別人数とタスク別平均点

実施年	2007	2007	2006	2006	2006	2005	2005	2005	2004	2004	2004	平均
回	2回	1回	3回	2回	1回	3回	2回	1回	3回	2回	1回	
人数(人)	3	5	4	9	3	6	5	2	12	11	2	62 (合計)
タスク1	6.67	6.60	6.25	6.78	5.33	6.50	6.40	5.50	6.67	6.55	5.50	6.45
タスク2	6.33	6.20	6.75	6.78	6.00	6.00	6.40	6.00	6.00	6.73	7.00	6.39
タスク3	5.00	6.20	7.00	6.33	5.67	6.00	6.60	3.00	6.33	6.27	5.00	6.10
区分	A			B		C		D		E		

(注) タスクは各10点満点

らEまでの5区分とした。それぞれの区分の平均点の差を分散分析により検討した。

その結果、3級においてはタスク1で $[F(3, 61) = 2.76, p = .68]$ 、タスク2で $[F(3, 61) = 2.75, p = .87]$ 、タスク3で $[F(3, 61) = 2.76, p = .60]$ であった。準2級において、タスク1は $[F(4, 55) = 2.54, p = .99]$ 、タスク2は $[F(4, 55) = 2.54, p = .19]$ 、タスク3では $[F(4, 55) = 2.54, p = .89]$ であった。各級とも各区分において、平均の差に5%水準で有意差は見られなかった。そこで、当初の調査対象者(3級71名、準2級62名)から直近から離れた者数名を除き、3級のA、B、C、D対象者65名、準2級のA、B、C、D、E対象者60名をタスク調査対象とした。

6 結果と考察

6.1 Can-do アンケートと自信の度合い

調査対象者の performance を測ると同時に対象者の自信の度合いも見ること、[Can-do 表現(statement)]の妥当性が検証される。今回英検の[Can-do リスト]の中に挙げられている[Can-do 表現(statement)]と同じ表現を用いて、パイロットのときと同じアンケートを行った(資料4)。1)から6)までが3級、7)から11)までが準2級で、

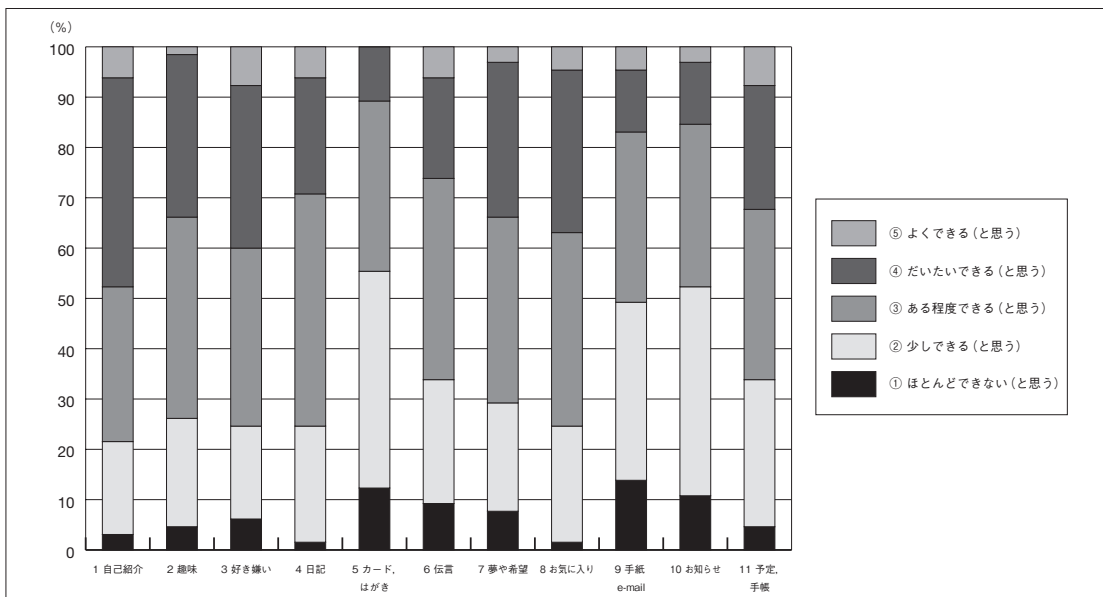
[①ほとんどできない(と思う)]から[⑤よくできる(と思う)]までの5ポイント・スケールで回答してもらった集計結果が、図1(3級)と図2(準2級)である。

③(「ある程度できる(と思う)」)以上と回答した調査対象者を自信の度合いが大きいと見なした。つまり、「書くことができる」と考えている割合を示したものである。

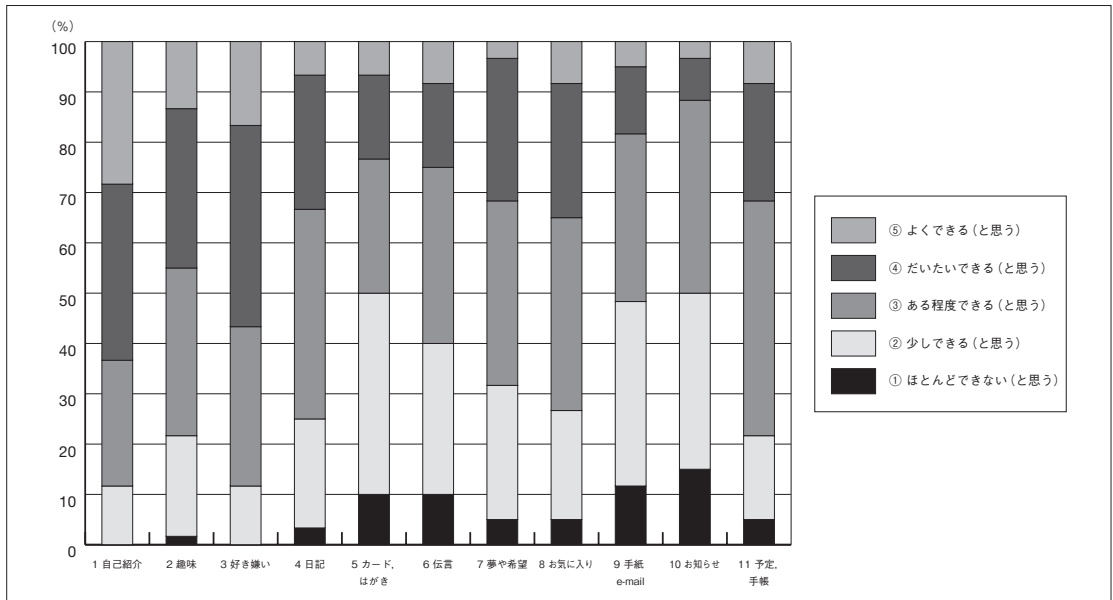
3級に関しては、1)「簡単な自己紹介が書ける」78.5%、2)「自分の趣味について、書くことができる」73.8%、3)「物ごとの『好き』『嫌い』とその理由を書くことができる」75.4%、4)「短い日記を書くことができる」75.4%、でどの項目も7割以上で、自信の度合いが大きい。それに対して、5)の「簡単なカードやはがきを書くことができる」は44.6%で、自信の度合いが小さいと言える。

準2級に関しては、7)「自分の将来の夢や希望について、書くことができる」68.3%、8)「自分のお気に入りのもの、身近なものを紹介する簡単な文章を書くことができる」73.3%であるが、それに対して、9)「短い手紙(Eメール)を書くことができる」51.6%、10)「簡単なお知らせを書くことができる」50.0%となった。これらの2項目が70%をかなり割り、自信の度合いが他と比べ小さい傾向にあった。

▶ 図1：3級取得者の Can-do アンケート集計結果



▶ 図2：準2級取得者の Can-do アンケート集計結果



6.2 英検 Can-do statement の妥当性検証

「英検 Can-do リスト」は「英検合格者の実際の英語使用に対する自信の度合い」を表している。あくまで自信の度合いであり、その能力があるかどうかは実際に試してみなければ定かではない。「英検 Can-do リスト」の「妥当性」とは、「Can-do リスト」が英検合格者の（ライティング）能力の一部を言い当てているかどうかである。つまり英検合格者が本当にそのリストどおりのことができる能力があるかどうかということである。

そこで、4.1.3で述べた評価方法の下で1つのタスクに対して合格した（「タスク完成度3以上」かつ「正確さ3以上」）調査対象者の割合が80%以上であれば、そのタスクに対する「Can-do 表現 (statement)」は妥当性があると考えた。

6.3 結果

各級のタスク別平均点とその合計は次のとおりである（表9）。

また、各級のタスクにおける達成率は次のとおりである（表10, 11）。達成率とは、6.2で述べたとおり、タスクに対して、「タスク完成度3以上」かつ「正確さ3以上」を取った合格者の人数の割合である。

3級に関しては3つのタスクすべてが80%以上の達成率であることから「簡単な自己紹介の文章

を書くことができる」、 「物ごとの『好き』『嫌い』とその理由を書くことができる」、 「短い日記を書く

■表9：3級、準2級のタスク別平均点と合計点

	3級 (n = 65)		準2級 (n = 60)	
	平均	標準偏差	平均	標準偏差
タスク1	7.54	0.71	6.48	0.83
タスク2	6.91	1.09	6.37	0.84
タスク3	6.83	0.99	6.13	1.14

(注) 各タスク10点満点

■表10：3級の取得年度別タスク達成率 (%) と平均点

3級	タスク1	タスク2	タスク3
A	100 (7.6)	80.0 (6.7)	90.0 (6.7)
B	100 (7.4)	85.7 (6.9)	90.5 (6.9)
C	94.7 (7.7)	84.2 (7.1)	84.2 (6.7)
D	100 (7.4)	80.0 (6.9)	100 (7.1)

(注) 各タスク10点満点

■表11：準2級の取得年度別タスク達成率 (%) と平均点

準2級	タスク1	タスク2	タスク3
A	92.0 (6.5)	100 (6.4)	58.3 (6.2)
B	75.0 (6.4)	91.7 (6.6)	75.0 (6.2)
C	100 (6.5)	100 (6.1)	81.8 (6.3)
D	92.9 (6.5)	92.9 (6.0)	57.2 (5.9)
E	100 (6.5)	100 (6.7)	72.7 (6.3)

(注) 各タスク10点満点

ことができる」という「Can-do 表現 (statement)」は、3級取得者であればある程度実際に書けると思われる。

準2級は、タスク2も前述の3級同様、90%以上の達成率であるので、「自分のお気に入りのもの、身近なものを紹介する簡単な文章を書くことができる」という「Can-do 表現 (statement)」も、本調査を見る限り妥当性があるように思われる。タスク1に関しては、取得年のグループの中に達成率が80%を切ったところもあり、「自分の将来の夢や希望について、書くことができる」は実際に書けない場面も想定されるが、可能性の低さを表しているわけではない。一方、タスク3では最高で81.8%、最低で57.2%で80%の基準から下回っているので「簡単なお知らせを書くことができる (パーティーの日時や場所、文化祭の日程など)」という statement はタスク1、2に比べ、書ける割合が低いことが予想される。このことは、6.1の図2にあるように、自信の度合いが50%と結果が出た「Can-do アンケート」と符合する。

理由として、タスク3は準2級の「Can-do 表現 (statement)」の「簡単なお知らせを書くことができる」を試すために作ったタスクであるが、調査対象者は英語の授業や日頃の英語学習の中で、パーティーや文化祭などの「お知らせ」を英語で目にしたり実際に書いたりする機会はほとんどなかったと推測され、書くまでに時間がかかったのと、どう書いたらいいか迷っていたようであった。そのことが影響してかタスク1や2よりもうまく書けなかった様子がうかがえる (資料7)。

7 まとめ

今回、実際に英検取得者に対して、「英検 Can-

do リスト」に基づいたタスクを行わせ、その達成率を見ることで、「英検 Can-do リスト」の妥当性の検証を試みた。

結果は、今回調査に参加した英検取得者は、その級で挙げられているリスト項目に関して、自信がある場合には、ある程度のライティングの performance を発揮し、実際に行うことができる可能性が高いことがわかった。ただ、今回は、調査対象者の人数も限定され、調査対象者が級取得直後にタスクを行ったものでないので、これをもって一般化し、リスト項目に対応できると明言することは避けなければいけない。

今回の調査で、「英検 Can-do リスト」の有効性に焦点が当てられ、テストを受けることで、その後実際の場面でどのくらい英語運用能力が発揮されるかがある程度明らかになった。日本でこれまで「Can-do リスト」なるものは、あまり教育の場で広く定着しているとは言い難いが、本研究で、この「Can-do リスト」の有効性を確認することができたのではないかと思われる。

謝 辞

最後に、このような委託研究という貴重な機会を与えてくださった、和田稔先生、並びに(財)日本英語検定協会と選考委員の皆様、とりわけこの研究を進めるにあたり、お忙しい中、私どもの議論に加わってくださり、貴重な助言をくださった柳瀬和明英検顧問には、深く感謝申し上げます。また、採点の際、協力していただいたカナダ人英語教師 Andre Parsons 氏、並びに、この調査に協力してくれた高専の学生諸君に、お礼を述べたいと思います。

<共同研究者>

臼田悦之 (函館工業高等専門学校准教授)

参考文献

Alderson, J.C., Clapham, C., & Wall, D. (1996). *Language Test Construction and Evaluation*. Cambridge, UK: Cambridge University Press.
 アーサー・ヒューズ(著). (2003). 静哲人(訳). 『英語のテストはこう作る』. 東京: 研究社.
 Council of Europe. (2006). *Common European Framework of Reference for Languages*. Cambridge: Cambridge University Press.
 Ellis, R. & Barkhuizen, G. (2005). *Analysing Learner Language*. Oxford.
 Heaton, J.B. (1995). *Writing English Language Tests*. Essex, UK: Longman.

Hedge, T. (1988). *Writing*. Oxford: Oxford University Press.
 金谷憲(編). (2003). 『英語教育評価論』. 東京: 河源社.
 小室俊明(編). (2001). 『英語ライティング論』. 東京: 河源社.
 Madsen, H.S. (1983). *Techniques in Testing*. New York: Oxford University Press.
 日本英語検定協会. (2006). 「英検 Can-do リスト」.
 Shaw, D.S. & Weir, C.J. (2007). *Examining Writing*. Cambridge: Cambridge University Press.
 Weigle, S.C. (2002). *Assessing Writing*. Cambridge: Cambridge University Press.

資料

資料 1 : Can-do アンケート (パイロット調査)

実際の英語使用(ライティング)に対する自信の度合いを見ます。自信のない項目が自分の弱点であり、そこを重点的に学習することでバランスの取れた英語力が身につくと考えられます。

()年()学科()番 氏名()

書く(Writing) 技能に関して

1)~11)の記述に関して、次の①~⑤の中から自分にあてはまるものを1つ選び番号に○をつけてください。

- ① ほとんどできない(と思う)
- ② 少しできる(と思う)
- ③ ある程度できる(と思う)
- ④ だいたいできる(と思う)
- ⑤ よくできる(と思う)

- 1) 簡単な自己紹介の文章を書くことができる。(名前、住んでいるところ、家族など)
①-----②-----③-----④-----⑤
- 2) 自分の趣味について、書くことができる。
①-----②-----③-----④-----⑤
- 3) 物ごとの「好き」「嫌い」とその理由を書くことができる。(食べ物、スポーツ、音楽など)
①-----②-----③-----④-----⑤
- 4) 短い日記を書くことができる。(1文から3文程度)
①-----②-----③-----④-----⑤
- 5) 簡単なカードやはがきを書くことができる。(誕生日カード、旅行先からの絵はがきなど)
①-----②-----③-----④-----⑤

- 6) 短い伝言を書くことができる。(例: Ken called at 3 p.m.)
①-----②-----③-----④-----⑤
- 7) 自分の将来の夢や希望について、書くことができる。(訪れたい国、やりたい仕事など)
①-----②-----③-----④-----⑤
- 8) 自分のお気に入りのもの、身近なものを紹介する簡単な文章を書くことができる。(自分のペット、好きな本など)
①-----②-----③-----④-----⑤
- 9) 短い手紙(Eメール)を書くことができる。(友達やペンフレンドへの簡単な手紙など)
①-----②-----③-----④-----⑤
- 10) 簡単なお知らせを書くことができる。(パーティーの日時や場所、文化祭の日程など)
①-----②-----③-----④-----⑤
- 11) 簡単な予定を手帳やカレンダーなどに書き込むことができる。(例: Meet Yoko at the station at ten / Go shopping with Jill)
①-----②-----③-----④-----⑤

資料 2 : ライティング・タスク A (パイロット調査)

タスク 1

あなたの友人の家に1人のカナダ人が短期でホームステイしています。あなたはその友人宅で開かれるパーティーに招待されました。そこで、英語で自己紹介することを考え、まずは英語で原稿を書いてみることにしました。次のことがらも含めて書きなさい。

※名前、住んでいるところ、家族など

タスク 2

つい最近あなたとEメールでやりとりをすることになった外国人から、物事の好き嫌いとその理由を教えてくださいという内容のメールが来ました。それに対する返事を食べ物、スポーツ、音楽などを例にとりあげ、次の書き出しのあとに書きなさい。※書き出しと終わりは書かれてある。

Hi! How is the weather there? Thank you very much for your e-mail.

Your friend,

_____ ←自分のファースト・ネームを書く

資料 3: ライティング・タスク B (パイロット調査)

タスク 1

英語の授業で、「行ってみたい国」というテーマで自由に書きなさいという宿題が出ました。次のことからも含めて英語で書きなさい。(5文以上書くこと)

※訪れたい国、その理由、その国でしたいことなど

タスク 2

同年代の人たちで作っているある英会話サークルがあります。あなたはそこに入りたいと考えています。入る条件の1つとして、簡単な Show & Tell をやらなければなりません。その原稿を書きなさい。(実物は自分のお気に入りのもの、あるいは身近なものとし、それを紹介する英文を5文以上で書くこと)

資料 4: Can-do アンケート (本調査)

英語力 Can-do アンケート

実際の英語使用(ライティング)に対する自信の度合いを見ます。自信のない項目が自分の弱点であり、そこを重点的に学習することでバランスの取れた英語力が身につくと考えられます。

()年()学科()番 氏名()

書く (Writing) 技能に関して

1)~11)の記述に関して、次の①~⑤の中から自分にあてはまるものを1つ選び番号に○をつけてください。

- ① ほとんどできない(と思う)
- ② 少しできる(と思う)
- ③ ある程度できる(と思う)
- ④ だいたいできる(と思う)

⑤ よくできる(と思う)

- 1) 簡単な自己紹介の文章を書くことができる。(名前、住んでいるところ、家族など)
①-----②-----③-----④-----⑤
- 2) 自分の趣味について、書くことができる。
①-----②-----③-----④-----⑤
- 3) 物ごとの「好き」「嫌い」とその理由を書くことができる。(食べ物、スポーツ、音楽など)
①-----②-----③-----④-----⑤
- 4) 短い日記を書くことができる。(1文から3文程度)
①-----②-----③-----④-----⑤
- 5) 簡単なカードやはがきを書くことができる。(誕生日カード、旅行先からの絵はがきなど)
①-----②-----③-----④-----⑤
- 6) 短い伝言を書くことができる。(例: Ken called at 3 p.m.)
①-----②-----③-----④-----⑤
- 7) 自分の将来の夢や希望について、書くことができる。(訪れたい国、やりたい仕事など)
①-----②-----③-----④-----⑤
- 8) 自分のお気に入りのもの、身近なものを紹介する簡単な文章を書くことができる。(自分のペット、好きな本など)
①-----②-----③-----④-----⑤
- 9) 短い手紙(Eメール)を書くことができる。(友達やペンフレンドへの簡単な手紙など)
①-----②-----③-----④-----⑤
- 10) 簡単なお知らせを書くことができる。(パーティーの日時や場所、文化祭の日程など)
①-----②-----③-----④-----⑤
- 11) 簡単な予定を手帳やカレンダーなどに書き込むことができる。(例: Meet Yoko at the station at ten / Go shopping with Jill)
①-----②-----③-----④-----⑤

* あなたの英検の取得級を教えてください。()に数字、学年と取得回に○を囲んで下さい。

()級(中1 中2 中3 高専1 高専2 高専3 高専4 高専5)

[第1回7月・第2回11月・第3回2月]

()級(中1 中2 中3 高専1 高専2 高専3 高専4 高専5)

[第1回7月・第2回11月・第3回2月]

資料5：3級ライティング・タスク（本調査）

3級ライティング

タスク1

4月、新しい英語担当の先生が「みなさんのことをよく知りたいので、今から英語で自己紹介を書いてください。」と言いました。下に自分の自己紹介文を英語で書きなさい。ただし、次の3つの項目も含めること。

※名前、住んでいるところ、家族

タスク2

どんなことでもいいので、1つのことをとりあげ、それについて「好き」か「嫌い」か、そして、その理由を英語で書きなさい。

(例：食べ物、スポーツ、音楽)

タスク3

英語の授業で、「日記を書く」という宿題が出ました。過去1週間以内の出来事のうち、1つをとりあげて、それについて英語で書きなさい。

※2文以上

資料6：準2級ライティング・タスク（本調査）

準2級ライティング

タスク1

将来、訪れたい国について書きなさい。次の内容も含めること。

※その国になぜ訪れたいか、そしてその国でしたいこと。

タスク2

あなたは英語の授業で、自分のお気に入りのもの、あるいは身近なものについて1つ英語で紹介文を書くよう指示されました。下に3文以上の英語で書きなさい。

※例：自分のペット、好きな本など。

タスク3

学校祭について、中学時代の英語の先生(ALT)に英語

で案内文を送ると仮定します。次の内容をすべて含めて書きなさい。(学校祭はこれから開催されると考えてください)

※日程：10月20日(土)～10月21日(日)

※場所：H高専

※お薦め：自分でお薦めと思うイベントや模擬店など(最低1つは書きなさい)

資料7：準2級タスク3の回答サンプル（本調査）

[Sample 1] Dear, Mr. --- ---. HNCT will hold a school festival in October 20th Saturday and 21th Sunday.

Task Completion: 2	Accuracy: 3
--------------------	-------------

[Sample 2] Hello. How are you? My school will take festival in October 21th to 21th, in H National College of Technology. Best shop I think is Okonomiyaki shop. That's very delicious!

Task Completion: 3	Accuracy: 3
--------------------	-------------

[Sample 3] A festival of my school will be opened in November 20th on Saturday and 21th on Sunday. My school is H College of Technology. Please come to the festival. There are many of the food. I think all of the food in festival is very good. I wish to see you.

Task Completion: 4	Accuracy: 3
--------------------	-------------

[Sample 4] School festival hold in H National College of Technology. Daytime is 10/20 (sat) ~ 10/21 (sun). I think interesting things, Music festival, Miss. contest, "Karaoke". It is very excited!

Task Completion: 3	Accuracy: 2
--------------------	-------------

[Sample 5] I hope come on my school festival. Festival is data October 20th and 21th, on Saturday and Sunday. In H National College of Technology.

Task Completion: 2	Accuracy: 2
--------------------	-------------